

【補助事業概要の広報資料】

補助事業番号 23-2
補助事業名 平成23年度 安全・安心な情報を視聴者に合せ提供するシステム開発
補助事業
補助事業者名 一般財団法人ニューメディア開発協会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

地方自治体や各種施設において、誰でも見やすい・わかりやすい案内板（公共サイン等）の整備は重要な課題となっている。しかしながら、子供から高齢者まで様々な年齢の人、さらには弱視者のように制約を抱える人の全てに対して見やすく・わかりやすい表示を行うのは難しいため、結果として安心・安全の情報が伝わらない可能性がある。この課題を解決するため、画像センサーおよび視聴者認識技術とデジタルサイネージを組み合わせ、視聴者の属性および視聴態度に応じた表示を行う電子案内板の実証システムを開発し、合せて視聴者の属性や視聴態度に応じた表示コンテンツの最適化につき研究する。この電子案内板の実証システムにより、視聴特性に近い状況で実証実験を行い、その有効性を検証する。

(2) 実施内容

① 安全・安心な情報を視聴者に合せ提供するシステム開発

ビデオカメラの画像から年齢・性別を推定する技術、顔画像から感情を推定する技術、特定人物の追跡技術等を組み合わせた『視聴者測定技術』をデジタルサイネージに適応し、どのような視聴者が、どのように視聴しているかを判別し、それに応じて表示コンテンツを変更できる『電子案内板』の実証システム（プログラム）を開発した。合せて視聴者の属性や視聴態度に応じた表示コンテンツの最適化につき研究した。この電子案内板の実証システムを使い実証実験を行いその有効性を検証した。実証実験は、実際の利用環境に近い人ごみのある環境を使い、対象者も一般の利用者を想定し8歳から65歳の26名で行った。その結果、実証システムが人ごみのある環境で安定的に性能を維持し稼動することが確認でき、また実験参加者へのアンケートから目標を上回る81%の満足度を得た。

